

貸借対照表

(平成 24 年 2 月 29 日現在)

株式会社アキュアホーム

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	13,153,366	流動負債	8,716,274
現金及び預金	9,862,450	工事未払金	3,874,696
完成工事未収入金	40,957	買掛金	387,688
短期貸付金	534,000	未払金	555,591
売掛金	179,981	未払法人税等	395,278
未成工事支出金	1,077,246	未払消費税等	120,842
販売用不動産	484,285	未成工事受入金	1,974,683
その他の棚卸資産	102,765	預り金	441,591
繰延税金資産	517,289	賞与引当金	683,903
その他の流動資産	358,034	完成工事補償引当金	238,180
貸倒引当金	△ 3,645	その他の流動負債	43,819
固定資産	2,650,289	固定負債	1,314,370
有形固定資産	1,208,499	役員従業員退職引当金	1,202,952
建物	761,408	その他の固定負債	111,418
構築物	10,141	負債合計	10,030,645
車両運搬具	18,592	(純資産の部)	
器具・備品	151,929	株主資本	5,772,975
土地	258,689	資本金	93,140
建設仮勘定	7,737	資本剰余金	28,419
無形固定資産	138,732	資本準備金	28,419
投資その他の資産	1,303,058	利益剰余金	5,752,391
投資有価証券	130,623	利益準備金	14,096
関係会社株式	145,000	別途積立金	2,850,000
長期貸付金	36,318	繰越利益剰余金	2,888,295
破産更生債権等	59,329	(うち当期純利益)	(1,313,183)
長期前払費用	176,293	自己株式	△ 100,975
繰延税金資産	523,896	評価・換算差額等	34
敷金・保証金	289,234	その他有価証券評価差額金	34
その他の投資	4,985	純資産合計	5,773,010
貸倒引当金	△ 62,624	負債及び純資産合計	15,803,655
資産合計	15,803,655		

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式 移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

時価のあるもの： 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のないもの： 移動平均法による原価法

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 商品・貯蔵品 最終仕入原価法

(2) 原材料 移動平均法による原価法

(3) 販売用不動産・未成工事支出金・仕掛品 個別法による原価法

3. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産 定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

(3) 長期前払費用 均等償却

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 完成工事補償引当金

完成工事に係る瑕疵担保の費用に備えるため、過去一定期間の実績を基礎に将来の補償見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社内規に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

593,341千円

2. 関係会社に係る注記

区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている関係会社に対するものは次の通りです。

短期金銭債権 534,000千円

長期金銭債権 33,220千円

3. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リースにより使用している重要な固定資産として展示用建物40棟があります。